

平成29年2月23日

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	蒲郡市
連絡先	部署名	企画部 企画政策課
	担当者役職・氏名	主事 高柳麻子
	電話番号	0533-66-1162
	FAX番号	0533-66-1190
	メールアドレス	kikaku@city.gamagori.lg.jp

○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：ラグーナ蒲郡地区における次世代型まちづくり

(1) 解決すべき行政課題
 ラグーナ蒲郡地区は、全国から年間300万人が訪れる県内有数の観光地で、地区西側エリアにおいては、ラグナシアを中心に多くの観光客で賑わっている。一方、地区東側エリアにおいては、昨今、民間企業の研修所、野外運動施設、リゾートホテル、宿泊型展示場等の開発が進んでおり、今後一層の賑わいの創出が期待されるエリアである。
 平成28年度には、愛知県、トヨタ自動車(株)、(株)ラグナマリーナ、蒲郡市が官民一体となって設置したラグーナ蒲郡地区まちづくり協議会において、地区のまちづくりの方針を示す『ラグーナ蒲郡地区 まちづくり・開発コンセプト』を策定した。「くらし」「にぎわい」空間としての魅力を創出するため、地区全体において「エネルギー・モビリティ等の未来の技術を導入し、多様なニーズに応える次世代型のまちづくり」を目指しており、今後、地区全体の開発が加速するなかで、将来目指すまちの姿を現実のものとするために、自動走行等の導入に係る課題を整理し検討する必要がある。また、市内他地区には竹島、オレンジパーク、温泉といった魅力ある観光資源が広く点在しており、観光客の二次交通の確保が課題となっていることから、ラグーナ蒲郡地区での自動走行実証をモデルとし、当地区を含めた市内観光の回遊性確保を目指す新たな観光サービス検討の契機としたい。

(2) 施策展開の方向性
 自動走行実証を実施することにより、ラグーナ蒲郡地区における自動走行等の次世代

モビリティ導入にあたっての課題を整理し、ラグーナ蒲郡地区まちづくり協議会を中心とした関係者との調査研究を行う。今後のラグーナ蒲郡地区におけるまちづくりや誘致活動に活用し、地区全体の魅力と利便性を一体的に高め、暮らしの質の向上と観光振興を図る。

なお、先述のとおりラグーナ蒲郡地区は日々開発が進み市内外から注目されている地区であることから、当地区での実証による自動走行のPR効果は非常に高く、市民はもちろんのこと、ラグーナ蒲郡地区を訪れる多くの人々に自動走行への理解や関心を高めることができるため、次世代自動車産業の振興に貢献できると考える。

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

1 ルート（起点→終点）

ラグーナヒル→ラグーナフェスティバルマーケット入口

2 ルート（地図）道路改良工事のため一部線形が現状と異なります。



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

(1) 名鉄バス東部 路線バス

平日 7本/日、休日 6本/日

(2) ラグーナテンボス シャトルバス

毎日 2本/時

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約3.0キロ
車線数	主に片側1車線（一部中央分離帯あり）
道路構造	歩車分離 一部勾配あり
道路種別	臨港道路海陽1号線、2号線、3号線 市道海陽町1号線
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	全体的に少なく、普段渋滞は発生しない 一部の区間で連休や夏季には交通量が増加する
交差点	左折する十字交差点1箇所（歩車分離式） 左折する丁字路1箇所 直進する丁字路1箇所 幹線道路合流1箇所 サークルターン2箇所
起点・終点	起点：ラグーナヒル 終点：ラグーナフェスティバルマーケット入口 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

(1) 道路の様子（主要地点数カ所）

①海陽学園前サークルターン（西→東）



②臨港道路1号線（東→西）



③ラグーナ交差点（北→南）



(2) 起点、終点場所（駅、公共施設等）

起点（ラグーナヒル）



終点（ラグーナフェスティバスマーケット入口）



(3) 車両待機場所（起点・終点場所と異なる場合）

起点・終点に同じ

6 高精度3Dマップの有無

無

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成29年度の予定・予算措置状況等）

近未来技術実証特区「自動走行実証プロジェクト」における実施場所（想定）の協力

8 その他参考資料（ある場合は添付）

(1) ラグーナ蒲郡地区 まちづくり・開発コンセプト